

## 目次

■ 2023年1～6月のロシアの乗用車販売動向	1
■ キーパーソン	5
ミルジヨエフ・ウズベキスタン大統領再選／5	
■ エトセトラ	5
情報提供セミナー「ロシアにおける外資系企業への各種規制措置」のご案内／5	
■ トピックス	6
日本通運、ロシアでの引越業務を無期限休業／6	
日・アゼルバイジャン租税条約発効／6	
日本とキルギス、JCM協力覚書調印／6	
ロシア政府、日本産水産物の検査強化へ／6	
モルドバにウクライナ侵略の影響緩和に関する円借款／6	

**2023年1～6月のロシアの乗用車販売動向****はじめに**

本誌では、欧州ビジネス協会(AEB)が発表しているロシアの乗用車販売データを抜粋して、「統計速報」のコーナーで毎月紹介している。今回はAEBより2023年上半期の乗用車販売データが発表された。節目のデータであることを踏まえ、本号では通常よりも図表を拡充した形で紹介する。

図表1にみるように、2023年1～6月のロシアにおける乗用車(新車に限り、小型商用車LCVを含む)の販売台数は35万8,921台となり、前年同期比3.1%減となった。2022年2月のウクライナ侵攻による対口制裁の影響で、日欧米のメーカーの販売台数が大幅に縮小したのに対して、中国メーカーが大幅に増大しており、トップのロシアLadaに続いて、2位Chery(321%増)、3位Haval(242%増)、4位Geely(227%増)と販売高を伸ばしている。

図表2はブランド別の販売台数を企業グループ別に整理したものである。販売台数トップはAvtoVAZのLadaであり、市場シェアは33.5%に上る。

図表3にまとめた主要な企業グループの販売シェアでは、中国のCHERY Groupが17.9%のシェアで第2位に台頭している。

最後に図表4はモデル別の販売動向である。LadaのGrantaおよびNivalに加えて、CheryのTiggo 7 ProやHavalのJolion、GeelyのCOOLRAYなど、ここでも中国のモデルが上位を占めている。